

JMMA九州支部共催
平成26年度九州産業大学国際フォーラム
「高齢社会における博物館の役割を考える」

1 開催趣旨

生涯学習社会を迎えた現在、コミュニティにおける博物館の役割はますます重要になってきています。しかし、我が国の博物館界では具体的な方策を示せないままの状態が続く中、直近の社会教育調査では前回と比較し、博物館来館者数が300万人減少するという報告がなされました。

学芸員養成課程を有する九州産業大学は、こうした状況を打破する契機を作るため、我が国の博物館関係団体等と協力し、昨年度から海外の博物館研究者を招き、博物館事情を学ぶ国際フォーラムを開催しています。

今年度は博物館学部、博物館学研究科を有し、日本からの博物館関係者の受入れも多い英国・レスター大学から研究者を招聘し、「高齢社会における博物館の役割」をテーマに、講演（同時通訳）を聴きます。

プログラム進行は講演終了後、昨年度と同様にフロアと、じっくり意見交換を重ねながら、レスター大学の博物館教育の実践方策、そして「地域社会の一員としての博物館の役割」について博物館機能論の観点から検証していきます。

2 開催日時

2015年1月18日（日）13時～17時（受付12時半～）

3 開催場所

九州国立博物館研修室（太宰府市、西鉄太宰府駅から徒歩10分）

4 内 容（同時通訳有り）

①13:00-13:10 開会行事、フォーラム開催趣旨の説明

②13:10-14:10（60分）

講演「高齢社会における博物館の役割-英国・レスター大学の事例から-」

ジョスリン・ドッド（Dr. Jocelyn Dodd Ph.D.）

（レスター大学大学院博物館学研究科博物館ギャラリーリサーチセンター長）

③14:10-14:30 休憩

④14:30-16:30（120分、途中10分休憩）同時通訳有り

ディスカッション（ドッド博士への質疑応答、各館からの事例紹介）

パネリスト：ジョスリン・ドッド（Dr. Jocelyn Dodd Ph.D.）

コメンテーター：竹内有理（長崎歴史文化博物館教育普及グループリーダー）

神保明香（福岡市美術館学芸員）

モデレーター：緒方泉（九州産業大学美術館教授）

⑤ 16：30-16：50 まとめ、ふりかえり

⑥ 16：50-17：00 アンケート記入、閉会行事

5 対象・定員・締切

博物館関係者、学芸員養成課程を受講する学生、博物館教育に関心がある方。
定員30名（応募多数の場合は抽選）、締切は12月25日（水）。

6 主催

Museum 2015実行委員会（東京国立博物館・全日本博物館学会他）、九州産業大学、九州産業大学美術館、日本ミュージアム・マネジメント学会九州支部、英国・レスター大学、平成26年度科学研究費助成事業（学術助成基金助成金）基盤研究（C）「新学芸員養成課程に対応するユニバーシティ・ミュージアムの方策研究」（研究課題番号：24501274、研究代表者：緒方泉）、平成26年度科学研究費補助金基盤研究（S）「知の循環型社会における対話型博物館生涯学習システムの構築に関する基礎的研究」（研究分担者：緒方泉，課題番号24220013）

7 申込み

以下のメールアドレスに、必要な事項を記載してお申し込みください。

件名：国際フォーラム 2015

内容：氏名、所属、連絡先（メールアドレス）、講師に聞きたいこと

申込：museum03@ip.kyusan-u.ac.jp

*何か不明な点があれば、上記連絡先へお願いします。

8 備考

昨年度は米国・バンクストリート・カレッジからニーナ・ジェンセン教授を招聘、博物館人材教育論について議論しました。

今回のドッド博士が在籍するレスター大学大学院博物館学研究科には秋篠宮家の眞子内親王殿下が留学中。